
好きなアニメ・ゲームキャラクターで逃走中

ソニック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

好きなアニメ・ゲームキャラクターで逃走中

【Zコード】

N4244Y

【作者名】

ソニック

【あらすじ】

舞台はあの⼈氣テーマパークユニバーサルスタジオジャパン。ユニバーサルスタジオでこの小説を書いた作者が好きなアニメとゲームのキャラが

逃⾛中に参加する、そして誰が逃げ切れるのか。

逃走者紹介（前書き）

逃走者の紹介です

逃走者紹介

スマブラX

ルイージ

フ ピ
ツ テ
パ チ

ワリオ

トウーンコンク

ドンキーポング

サムス・ア

フルコ

ウルフ
ロボット

ゲーム&ウォッチ

ナナ
ナナ

マルス

ピカチュウ

ピット

カービイ
メタナイ

ネス

リュ
カ

スネーク

ソニック・ザ・ヘッジホッグ

ソニック

テイルス

ナックルズ

エミー

シャドウ

シルバー

エスピオ

ベクター

ロックマンX

エックス

ゼロ

アクセル

ドラゴンボール

孫悟空

ベジータ

トランクス（未来）

ピッコロ

孫悟飯

バー・ダック

ブロリー

パラガス

ぶよぶよ！！（20周年version）

アルル・ナジヤ

アミティ

あんどうりんご

ラフィーナ

アコール先生

シグ

クルーケ

フェーリ

レムレス

ささきまぐる

ドラゴケンタウロス

サタン

ルル

ウイッチ

シェゾ・ウイグイイ

リデル

新機動戦記ガンダムW（TV版）

ヒイロ・ヨイ

デュオ・マックスウェル

トロワ・バートン

カトル・ラバーバ・ウイナー

張五飛

絶体絶命でんじやらすじーさん
じーさん

孫

校長

ゲベ（8頭身）

ボボボー・ボボボ

ボボボ

首領パツチ

ところ天の助

デッドライジング
フランク・ウエスト

逃走者紹介（後書き）

次回本編スタート。

ゲームスタート（前書き）

わあこよこよ本編です。

ゲームスタート

午後5時00分

ユニバーサルスタジオジャパン

そこを貸切でとあるゲームが開始したその名も

逃走中

ここユニバーサルスタジオで150分間逃走を行う、

逃げ切れば賞金が貰える、ただしハンターにつかまれば賞金は0となる。

ハンターの人数は4体。

そして今参加者は4体のハンターが封印しているハンターハンターボックスの前にいる、そしてハンターボックスの前にボタンがある。

そのボタンは押した1分半後にハンターが放出するボタンである。

そして今そのボタンを押す代表者がランダムで決まった、その代表者は。

デュオ「へつ？俺。」

デュオだ

そしてデュオはハンターボックスの前にいてそのボタンを押す

デュオ「よーーし、じゃあ押すぜーーー。」

デュオの声と共に他の逃走者は逃げる準備をしていた。

ポン、

デュオがボタンを押したと同時に全逃走者はハンター・ボックスから走つて逃げた。

なおハンターはさつき行つたように押して1分半後に放出する。

逃走者はそれぞれに散つた。

デュオ「なんで俺を代表として選んだんだよ。」

何で自分を代表にしたかと思つてゐるガンダムのパイロット。

そこへ

りん♂」「あれ？ デュオ君じゃない。」

「デュオ」「よおりん♂」が、偶然に会つたな。」

「りん♂」「本当偶然だね。」

「デュオ」「ホントだな。」

「りん♂」「偶然会つたんだし一緒に行動しない？」

「デュオ」「ん一緒にか、ああ別にいいぜ。」

「りん♂」「ありがとうデュオ君。」

「デュオ、りん♂」と合流

ソニック「一緒に頑張りつぜアミティ。」

アミティ「うん」

この2人はすこい仲良しでやつぱり一緒に行動している

悟空「へへ、ワクワクすっぞ」

逃走中でワクワクしている最強の男

そして

プシュー

ドンッ！！

ボタンを押してから1分半が立ち4体のが解き放たれた。

4体のハンターはすぐさま逃走者確保へと向かう

プルルル

ヒイロ「メールか。」

エックス「ボタンを押してから1分半が立ち・・・」

アイク「4体のハンターが解き放たれた・・・」

孫「」れより逃走中を開始する。」

ゲームスタート

ゲームスタート（後書き）

感想をお願いします。

いよいよ始まつた逃走中、誰が逃げ切れるのか。

遂に始まつた逃走中

71名の逃走者の中で逃げ切れる者は誰だ。

ゼロ「ついに始まつたか。」

ベジータ「カカロツトより長く生き残つてやる。」

逃走中でもライバル視を持つサイヤ人の王子

天の助「どうかに隠れねえと。」

隠れ場所を探すところでん。

天の助「お、いい隠れ場所があつたぞ。」

そして見つけた

アクセル「せつかく逃走中に参加したんだからせめて長く生き残ら
なきやね。」

果たして彼は長く生き残れるだろ？

フランク「カメラマンの底力見せてやるぜ。」

自信満々の超人カメラマンその常人離れした体力と強靭的な精神力
卓越したサバイバル術によつてゾンビの住みかとなつたショッピングモールから無事生還を果たしたその能力は逃走中ではどう活躍するのか。

天の助「うわ、ハンターが居るよ。」

天の助が隠れているとこの近くにハンターがいた

天の助「よし、通り過ぎたな。」

ハンターが通り過ぎたと思い移動をする

そして

ハンター「...」

見つかった

天の助「やああああああああああああああああ、早速追いかけて
来た――」

天の助はスピードを上げて逃げるがハンターの足は早いそして距離は縮まつていくそして

天の助「ぎやああああああああああああああ！」

ポン

ところ天の助確保残り70人
天の助「ガ――――ン」

プルルルルル

トロワ「確保情報・・・」

シャドウ「ジュラシックパーク付近で・・・」

ドリ「「といふ天の助確保。」

ボーボボ「やつぱあいつダメ野郎だな。」

アミティ「早くも1人捕まっちゃったね。」

ソニック「ああ、しかも最初はやっぱあいつか。」

デュオ「ええ、もう早くも1人捕まっちゃったのかよ。」

りんご「うん、天の助君が確保されたみたいよ。」

デュオ「あいつか、最初に確保されそうな感じしてたしな。」

続
<

次回最初のパッショングが開始する。

part-2 (前書き)

最初の「シラヨン」が始まる

数分後

突如エリア内に映し出された7つのハンターマーク

プルルルル

ワリオ「お、メールだ。」

ファルコ「今度はなんだ。」

ヒヤロ「ミッション、ミッションが来たか・・」

ナックルズ「エリア内に的巨大ハンターマークが映し出された・・・」

「

アクセル「残り130分までにマークを消さなければ・・・」

ルル「残ったハンターマークと同じ数のハンターを放出する・・・」

「

フランク「マークは全てで7つ・・・」

カトル「マークは1から7までナンバリングされており・・・」

ルイージ「順番に消さなければならぬに急ぎたまえ、ええー? てことは7体増えれば合計11体に! !」

ミッション

ハンターマークを消去せよ

これより130分までに7つのハンターマークを消さなければ残った数と同じハンターが放出される

ただしハンターマークを消すには1から7まで表示されているマー

クの切り替えレバーを下ろさなければならない

ハンターマークを消さなければ最大7体のハンターが放出される

ヒイロ「任務了解。」

ゼロ「勿論行くぜーーー！」

シルバー「よし、行くか！！」

フランク「行くぜ！！」

ルイ・ジエ・行記

ワリオ「行かねえよ。」

パラガス「勿論私はいかない。」

行くか行かないかは自由だ。

「デコオ、どうする?」
「いやつは行くか。」

りんご」「うん、勿論行つた方が・・・てハンターが居るよー!」

デュオ「マジかよー！」

2人はいち早くハンターを見つけ移動をしただが

ハンター「！！」

見つかった

デュオ「ヤベー見つかっちゃった、」J-Jは「手に分かれるぞ!」

「うん……」

そして一手に分かれた、そしてハンターが標的にしたのは

りん」「嘘！こっちに狙ってきたーー！」

りんごだ

「のままではりんごは捕まつてしまつ

と、その時

？？？」「うわちだ、うわちに隠れろ……」「

りんご」「えつーー？」

突如隠れ場所から声が聞こえりんごは戸惑つたが声に従いりんごは隠れた

ハンターからの視界から見失つたようだ

そしてりんごを助けた声の人物は

エックス「無事で良かった。」

エックスだ

りんご」「ヒックス！？」じゃあさつきの声はヒックスだったの。」

エックス「ああ、君がハンターに追いかけられたのを見かけたので声を出して助け出したってことになるな。」

りんご」「でもどうしてそんなことを、下手をすればエックスまで捕まるといだつたんだよ。」

エックス「俺は誰かを助けるためならハンターに見つかるのを承知で君を助けたんだ。」

りんご」「さうか、ありがとうヒックス。」

エックス「とりあえず一緒に行動しよう。」

りんご」「うん。」

りんご、ヒックスと合流

りんご」「それと友達になってくれる?」

エックス「ああ、喜んで。」

りんご「ありがとう」

そしてりんごはエックスと友達になった

りんご「ねえ?あれハンターマークじゃない。」

エックス「ん、ほんとだしかもナンバーリングは1だ。」

なんと2人は偶然ハンターマークナンバーリング1の停止レバー見つけた

エックス「よし引くぞせーの」

ガシャン

ナンバーリング1停止

残り6個

りんご「やったね!」

エックス「ああ。」

残り6個停止出来るか

プルルルルルルル

五飛「メールか、ハンターマークナンバーリング1停止、早いな。」

マルス「て事は、残り6個か。」

ナンバーリング停止はメールで知らされる

マリオ「よーし俺もミッションで活躍してやるぜーーー。」

やる気満々のスーパースター

だが彼の後ろの近くに、ハンターが

まだ彼は後ろにいることを気づいていないそして、

ハンター「！！！」

見つかつた

マリオ「ん、うわヤベエハンターだー！」

マリオが逃げた先に

じーさん「あ、ハンターに追われてる。」

じーさんがいた、そしてじーさんは壁に隠れた。

マリオ「ヤベエ！行き止まりだーー！」

マリオが逃げた先は行き止まりだ。

ポン

マリオ確保残り69人

マリオ「最悪だ」

ゲーム界のスターここに散る

プルルルルル

カトル「確保情報だ」

アコール先生「ジュラシックパーク付近にて・・・」

エスピオ「マリオ確保。」

ルイージ「ええ!? 兄さんが!!」

「マジでー? マリオが!」

トランクス「まだ驚きが隠せない、あの人が早くも捕まるなんて。」

全員驚きが隠せないようだ

「フード、「あれ? 何が違う?」などない、どうしたんですの?」
思つてました。

デュオ「ラフィーナか、さつきハンターに追われて全力で逃げたからゼエゼエ、すっげえ疲れてんだよゼエ。」

ラフィーナ「そうだったんですね、所でミッショングリーンに行く所なんですか？」

デュオ「ああ、いいぜ俺もニッショーンに行くつもりだったからな。」

デュオ、ラフィーナと合流

アミティ「あ、あつたハンターマークナンバリング2を見つけたよ。

「

ソニック「よっしゃ、でかしたぜアミティ！」

2人はマークナンバーリング2を見つけた

ソニック「これが停止レバーか、良し引くぜ、セーの」

ガシャン

ナンバーリング2停止、残り5個

ソニックアミティ「「イエーイ」」

2人は息動向のハイタッチをした

残りの5つも停止出来るか

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4244y/>

好きなアニメ・ゲームキャラクターで逃走中

2011年11月19日20時26分発行